

**岐阜県美術館** 企画展のご案内  
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

# 「岸田劉生展 ー写実から、写意へー」



岸田劉生 《自画像》1914年 岐阜県美術館

展覧会名	「岸田劉生展 ー写実から、写意へー」
会場	岐阜県美術館 展示室3 (岐阜市宇佐4-1-22)
会期	令和2年11月14日(土)～令和3年1月17日(日) 10:00～18:00 ※会期中、展示替えがございます。 ※企画展開催中の第3金曜日は20:00まで開館 ※展示室の入場は30分前まで ※休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始(12月28日(月)～令3年1月4日(月))
観覧料	一般 800(700)円 大学生 600(500)円 高校生以下無料、( )内は20名以上の団体料金 ※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、難病に関する医療受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料
主催	岐阜県美術館、岐阜新聞社 岐阜放送
後援	NHK 岐阜放送局
協力	公益財団法人ひろしま美術館、田辺市立美術館
特別協力	公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館

本資料に関するお問い合わせ 岐阜県美術館 広報担当：橋本 展示担当学芸員：廣江・松岡  
〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22  
TEL 058-271-1313 FAX 058-271-1315  
<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail: hashimoto-hironori@pref.gifu.lg.jp

# 「岸田劉生展 一写実から、写意へー」

## 展覧会について



岸田劉生《麗子之蔵》  
1918年 笠間日動美術館蔵



岸田劉生《劉生自像》1929年  
笠間日動美術館蔵

岸田劉生は、生涯渡欧することなく日本にあって、独自に西洋絵画を受容し、大正期に独特の写実で強烈な個性を発揮した洋画家です。

しかし、しだいに対象の内面に潜む美を表現するようになったことでも知られています。

1908(明治 41)年に白馬会葵橋洋画研究所に入り黒田清輝の指導を受けていた劉生は、1911(明治 44)年頃ゴッホやセザンヌといったポスト印象派からの影響が強く表れた作品を手がけますが、やがてデューラーやヤン・ファン・アイクといった北方ルネサンスの画家からの影響が顕著な肖像画の数々を描きはじめます。

ゴッホに見られるような荒いタッチと色彩豊かな色遣い、セザンヌに見られるような幾何学的な形態把握から、細部まで描き込まれた細密な表現に移り変わる中で、「写実」を通して描く対象の本質を捉えることについて考えを新たにしました。

劉生は、晩年に向かうにつれて日本画を描くなど、独自の道を極めていきました。劉生の「麗子」を描いた日本画は、油彩画の「麗子」に比べると、まるで別の人物であるかのようにデフォルメされたものとなり、どこか文人画を思わせます。

この頃、宋元画を称賛するようになった劉生は、「写実」とは、単に見たものをそっくりに描くことではなく、対象の持つ本質や意味を写し取ること、すなわち「写意」であると見なし、宋元画の単純化された線と影のない描写にこそ真実があると考えようになりました。

また、それらは、平面性と稚拙な表現を併せ持つことで、現実感が薄れているところにより深い魅力を秘めると述べています。このように東洋画の中に劉生が見いだしたのは、西洋的な「写実」を越えた東洋的な「写意」だったと言えます。

本展では、笠間日動美術館のコレクションを中心に、劉生の絵画、版画、さらには装丁画などを紹介することによって、当初の西洋美術の受容による「写実」から、後半生に独特の展開を見せた日本画や東洋的な装丁の「写意」への帰結までの全画業を展望します。さらに、当館新収蔵の貴重な初期の油彩画等のお披露目とともに、岐阜と劉生の関係を紹介いたします。

(図録「岸田劉生展一写実から、写意へー」2019-2021 ごあいさつ より)

## 岸田 劉生 (1891~1929) 略歴

1891(明治 24)年、東京市京橋区(現在の中央区)銀座2丁目11番地に父・吟香と母・勝子の四男として生まれる。

1908(明治 41)年、白馬会葵橋洋画研究所に通い、黒田清輝に洋画を学ぶ。

1910(明治 43)年、白馬会第13回展、第14回文部省美術展覧会(文展)に油彩画を出品、入選する。

1912(明治 45/大正元)年、初の個展を開催。この頃、ゴッホを始めとする印象派に影響を受けた作品を制作する。

1914(大正 3)年、2回目の個展を開催。油彩画のほかにペン画や銅版画を出品する。

1915(大正 4)年、現代の美術社主催第1回美術展覧会に出品し、木村荘八、中川一政らと草土社を結成する。

1918(大正 7)年、デューラーを意識しながらも、表現を東洋的に変更することに制作意図を持った作品を描く。この年から麗子と於松をモデルとした作品を制作する。

1919(大正 8)年、白樺十周年記念主催岸田劉生作品個人展開催。中国絵画にも関心を持つ。

1923(大正 12)年、第1回春陽会出品。制作が日本画中心となる。

1929(昭和 4)年、南満州鉄道の招待により満州(現在の中国東北部)を訪れ、大連、奉天(瀋陽)、ハルビンなどを巡る。大連を発ち帰国。山口県徳山に逗留中に急逝。享年 38。

## ■ 開催期間中イベント

### ◆「ナンヤローネ ワークショップ」

美術を気軽に楽しむための合言葉「ナンヤローネ」をキーワードとして、制作活動を行います。

日時：12月20日（日）

会場：岐阜県美術館 ※要事前申込み

### ◆「ナンヤローネ アートツアー」

アートコミュニケーション作品《Such Such Such》を体験しながら、展示作品の魅力を味わいます。

日時：12月6日（日）、令和3年1月17日（日）

会場：岐阜県美術館 ※要事前申込み、ただし観覧券が必要

## ■ 同時開催 （※会期中、同展観覧券の半券にてご観覧いただけます。）

### ◆「日本画の逆襲 ふたたび」 展示室1（a）

### ◆「ルドン、西洋美術コレクションから」 展示室1（b）

8月28日（金）～12月13日（日）

### ◆「寄贈記念 熊谷守一展」 展示室1（c、d）

9月8日（火）～12月20日（日）

### ◆「工芸・新収蔵品を中心に」 展示室2（b、c）

9月26日（土）～12月20日（日）

※

### ◆「ぎふの日本画 いのちのリレー ～土屋禮一を中心に～」 展示室1（a、b）

12月18日（金）～令和3年2月28日（日）

### ◆「特集・宮島達男」 展示室1（c）、2（b）

令和3年1月13日（水）～2月28日（日）

### ◆「篠田桃紅と抽象の世界」 展示室1（d）

令和3年1月13日（水）～3月28日（日）

※正式はネ（しめすへん）に豊

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、日時・内容を変更する場合がございます。

※ 会期やイベントの最新情報、その他の催し物については、岐阜県美術館 Web サイトをご覧ください。

(<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>)

岐阜県美術館

検索 

## 岐阜県美術館企画展

「岸田劉生展 -写実から、写意へ-」



## 広報画像貸出申込書

FAX 送信番号 : 058-271-1315

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名 : )		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

## 1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 ( 月号) / 発行部数	部
掲載内容				

## 2. 広報画像はご使用になりますか。

 はい 画像データ到着希望日 ( 月 日)       いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

## 3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	岸田劉生《滞船》1909年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	②	岸田劉生《代々木風景》1916年 笠間日動美術館蔵
<input type="checkbox"/>	③	岸田劉生《静物(林檎と葡萄)》1919年頃 笠間日動美術館蔵
<input type="checkbox"/>	④	岸田劉生《ETERNAL IDOL》不詳 笠間日動美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	岸田劉生《自画像》1914年 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	岸田劉生《麗子之像》1918年 笠間日動美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑦	岸田劉生《りんご》不詳 笠間日動美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑧	岸田劉生《猫図》1926年 笠間日動美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑨	岸田劉生《劉生自像》1929年 笠間日動美術館蔵

## ■ 広報画像一覧

①



②



③



④



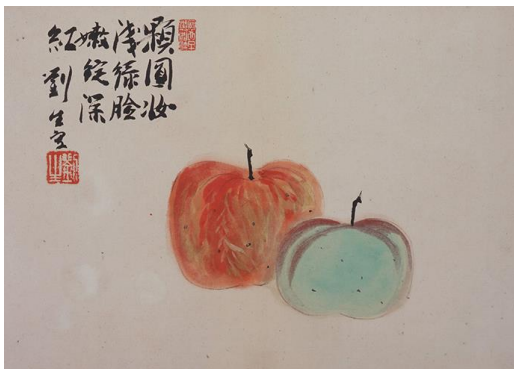
⑤



⑥



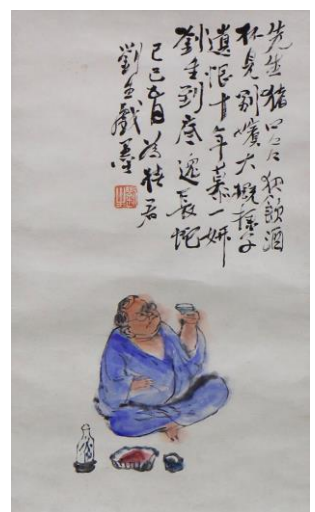
⑦



⑧



⑨



## 【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・変更はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。